

高齢者における精神科と身体科の医療機関間連携についての現状調査 (三島二次医療圏精神科医療機関回答まとめ)

資料 6－1

1. 現状調査について

- 調査目的：高齢者における、精神科医療機関と身体科医療機関との連携についての現状及び課題を把握するため
- 調査時期：令和 7 年 9 月～10 月
- 調査対象：三島二次医療圏内で入院病床を有する精神科医療機関 7 機関
- 調査結果：下記 2 「課題の概要」及び資料 6－2（回収資料）を参照

2. 課題の概要

(1) 身体科医療機関から高齢者の「紹介を受ける際」の課題

- ・身体症状・合併症等の程度によっては精神科医療機関での受け入れが難しい場合がある。
- ・精神科医療機関での治療や入院等について家族の認識等が不十分で、家族の同意を得るのが難しい場合がある。
- ・寝たきりの方の場合、介護面でのケアが必要となり人手不足となる。

(2) 身体科医療機関へ高齢者を「紹介する際」の課題

- ・精神科・精神疾患等を理由に患者の受け入れを断られる場合がある。
- ・家族に関する課題がある（急変時の延命治療につき家族が判断できていない、家族が高齢ですぐに動けない）。